

日本の未来を見据えて撃つ！  
そんなあなたにホットな話題をお送りする  
最先端オピニオン紙

# 日本シティジャーナル

発行: ネットハウス  
〒286-0825 千葉県成田市新泉 14-3  
TEL 0476-89-2333 FAX 0476-89-2334  
[平日: 10:00~19:00、土曜: 12:00~17:00]  
<http://www.nihoncity.com>  
成田市、佐倉市、印西市、富里市、香取市、山武市、船橋市  
千葉市(花見川区、美浜区)、習志野市、八千代市、西街道市  
高々井町、茨城、小林、安房、多古町、横芝光町、芝山町、神崎町  
発行部数: 500,000部

## 古代日本の地勢観 Part.IV 列島の指標を結ぶ線上に位置づけられた重要拠点

前七世紀初頭、国家の崩壊という危機に直面し、故郷イスラエルの地を離れて東方へと旅したイザヤを中心とする先陣部隊は、アジア大陸を海岸沿いに航海し、その東の果てから台湾へ向かったと考えられます。「東の島々」を求めて長旅を続けてきた民だけに、台湾から先に浮かぶ琉球諸島を目にした時、目的地に到達したことを喜んだに違いありません。それ故、琉球諸島にて最初に上陸した島は、海から陸地に吐き出されて命拾いした日約聖書ヨナ書の記述に基づき与那国島と命名され、一連の島々はいつしか八重山列島、つまり神の山が連なる島々と呼ばれるようになりました。

八重山列島を含む琉球諸島は、大陸から台湾経由で航海してくる民にとって「東の島々」の玄関であり、その中心的な存在が沖縄本島でした。琉球諸島の中でもひととき大きく、温暖な気候と豊かな農産物に恵まれ、平野部が広がる沖縄本島は、住み心地の良さという観点からは正に楽園であったに違いありません。次第に島の南側、平野部を中心に古代集落が築かれ始め、その拠点はヘブライ語で休息を意味する「ナハ」と呼ばれるようになったのです。

しかしながら、多くの渡来者にとって沖縄は、あくまで一時の安息の場でありませんでした。なぜならば、イスラエルの使命は新天地にて神の都と聖所を造営することであり、その場所は緯度、地形、周辺の環境、アクセス等、総合的な判断からして琉球ではないことが分かっていたからです。それ故、イスラエルからの渡来者は都を再建するためにふさわしい土地を見出す為、琉球諸島の先にも続く「東の島々」を巡り回り、地勢を検証する必要性に迫られていました。神の命と導きに従うことを重んじた民は、琉球の優しい生活環境に甘んじることなく、未知の島々を探索する任務を背負って再び旅立つことになりました。

使命感に燃えた男性の一行が、未知の島々に向けて旅立つということは、多くの女性や子供、老人が琉球、沖縄本島に残されることを意味していました。

こうして沖縄はイスラエル移民にとって、「東の島々」の玄関となる一大拠点として位置づけられるも、そこに残された女性らに島の管理が委ねられ、祭祀活動も含めて女性が多く行事を司るという異色の文化が古代から形成されたのです。そして命をかけて沖縄を離れた者たちの多くは、行く先で使命を全うし、家族の元に戻ってくることはなかったのです。彼らの帰りをひたすら待ち望む思いは、沖縄の久高島で12年ごとに催されてきたイザイホーと呼ばれる祭りからも垣間見ることが出来ます。

### 古代の指標となる淡路島の存在

日本の標準時を定めた子午線は東経135度であり、その線は兵庫県明石から淡路島の北淡を通ることからしても、淡路島がほぼ、日本の中央に位置していることがわかります。また、地勢学的にも淡路島は重要な位置づけを持っています。昨今の東京大学及び防災科学技術研究所の発表によると、巨大地震をもたらすフィリピン海プレートは、紀伊半島の西端から淡路島中心を通過して鳥取市に抜けている可能性が高いことが報告されています。その裂け目は地下70キロメートルにも達し、その結果、地下プレートの西側、中国・四国地方の下には複数のプレートが存在し、それぞれが下から支えられているのに対して、近畿地方はプレートが深く沈んでいることから、支えが存在しない状態になっていることがわかりました。つまり、今日の地勢学的見解としては、淡路島の中心部を境目として、四国側は強い地震が起きてもおよそ安泰であるのに対し、東方の近畿地方とその周辺地域は地中の支えが欠乏していることから活断層が多く、海溝型巨大地震を引き起こす原因となることが指摘されたのです。淡路島は単に日本列島の中心に位置するだけでなく、地勢学的に見ても、重要な分岐点に位置していたのです。

淡路島は古代社会においても、大切な指標が存在する島として認知されていました。6800余りの島々から成る日本列島の中心でも淡路島は近畿地方の曲がり

角に位置し、瀬戸内海の島々の中でも東方の最後に浮かぶ大きな島です。また、四国とも隣接することから、地域の指標とするには理想の位置づけにあったと言えます。その淡路島に、いつしか古代の民が到来し、その中心に聳え立つ巨大な自然石が目されました。そして神籬石とも呼ばれたその巨石は、列島の中心的な指標として認知されるようになり、そこから夏至の日の出、およそ30度の方角にある水源の豊かな諏訪湖の南側周辺には、縄文時代前期から阿久遺跡と呼ばれる大きな集落が造られました。その後、近郊に聳え立つ日本の最高峰、富士山の周辺にも集落は広がりを見せます。今からおよそ5000年から6500年前の最大昔、既に日本列島では渡来人により集落が築かれ始めていただけでなく、それら集落の存在を淡路島と紐づけることのできる不思議に、歴史のロマンを感じないではいられません。

その淡路島が古事記や日本書紀では、日本国家の起源となる国生み神話という大舞台で、島々の一番手として登場します。それは、国生みに直接関わったイスラエルからの一行が、古くから語り伝えられてきた淡路島と神籬石の指標の存在にいち早く注目し、淡路島を列島の中心として認識した上で、島々を巡り回ったからではないでしょうか。それ故、まず淡路島を目指して航海し、そこから国生みと呼ばれる島々の検証を始めたと考えられるのです。つまり、国生みの歴史は淡路島から始まったという古事記や日本書紀の記述は、あながち、間違いではなかったのです。そして新しい国家の建造を目指したイスラエルの一行は、淡路島の神籬石を中心的な指標として、各地を地理的に紐づけながら、驚異の精度をもって新たな拠点を列島各地に見出していくことになりました。

### 沖縄と八戸を結ぶ南北の基準線

前七世紀、淡路島に到来したイスラエルからの調査団は、淡路島の神籬石の存在だけでなく、阿久遺跡と呼ばれる諏訪湖近郊の古代集落や、列島の北の端、十和田湖周辺に存在した複数の

集落についても、数々の伝承から理解していたことでしょう。これらの情報を参考に一行はまず、「東の島々」の全体像を捉えながら、内陸に足を入れる為に舟を着岸させる港の場所を確定することが不可欠でした。それ故、目印となる大きな山や湖、岬などに注視し、手持ちの指標となるデータと紐づけながら港の候補地を選別したことでしよう。

その結果、本州北端の拠点となる港の候補地として、早くから八戸が特定されました。沖縄の那覇から2000km以上も離れている八戸は、沖縄の那覇と淡路島の神籬石とを結ぶ直線上に存在します。よって、その線が三陸の海岸線と交差する場所が港の候補地として選別され、後の八戸港になったと考えられます。周辺の海域は、黒潮と日本海流がぶつかる絶好の漁撈地でもあり、港町としては最適の環境を有していました。その港町は、琉球の八重山列島や八重島に相対する最北端の港として、同様に神の名前を意味するヤウエーと命名されて「八戸」という漢字が当てられ、後「ハチのヘ」と読まれるようになったのではないのでしょうか。また、青森周辺にはイスラエルの渡来者が前七世紀に到達する以前より、古代集落が形成されていたことが環状列石の存在からも知られていることから、八戸の港の歴史は縄文時代まで遡る可能性が高いようです。

那覇と八戸という南北に遠く離れた古代集落の拠点を、淡路島を介して直線に結びつけることのできることは、これらの集落の場所が古代、意図的に選別されて紐づけられた結果と言えるでしょう。そして沖縄の那覇から淡路島、八戸を結ぶ直線こそ、古代日本列島の地勢を理解する上で重要な基準線となっていたのでした。日本列島における集落や港等の拠点の多くは、この淡路島の神籬石を中心的な指標として、各地を地理的に紐づけながら、驚異の精度をもって新たな拠点を列島各地に見出していくことになりました。

### エルサレムへの想いがこめられた島

淡路島の神籬石の他にも、も



Ise Daijingu

う一つ、中心的な指標の役割を果たしたのが、イスラエルの渡来者にとって、故郷エルサレムと同じ緯度に存在する離島の山です。那覇から舟で北上してきたイスラエルの民が南西諸島沿いに黒潮ののって北上した際、注目したのは故郷の首都、エルサレムの北緯31度47分という緯度線でした。その線上に存在する島が、鹿児島県の中甕島です。甕島は上甕、中甕、下甕と呼ばれる3つの島に分かれ、中甕島の南側にはヒラバイ山と呼ばれる標高156mの小さな山があります。ヒラバイ山の緯度は31度46分であり、エルサレムとほぼ同じ緯度です。それ故、中甕島はいち早く貴重な指標となり、この山はイスラエル人を意味する「ヘブライ」という名称で呼ばれるようになるも、長い年月を経て読みが訛り、やがて「ヘライ」が「ヒラバイ」と発音され、ヒラバイ山という名前に転化したと考えられます。

甕島は「コシキ」と読みますが、その名前は純日本紀にも登場し、遅くとも八世紀には「甕」という名前が九州では使われていたことがわかります。その言葉の意味は米などを蒸すために用いられる、せいろの形に類似した甕形と呼ばれる土器です。その甕形にも見える磐座が島に存在し、甕大明神として地元住民から崇められていたことから、甕島と名前がつけられ、地元では語り継がれています。

ところが、実際に甕大明神を検証すると、それは念入りに削り造られた巨大な磐座の傑作だったことがわかりました。大明神と呼ばれる磐座の真下、海水に浸かる海辺には、何百、何千とも言える無数の岩石がころがっており、そこには岩を割る為の矢を打ちこんだと思われる跡が無数に見られます。つまり甕大明神とは人工の作品であり、天然の産物ではなかったのです。イスラエルの要塞、マサダを彷彿させる雄姿を持つこの磐座は、正面が沖縄の方向に面し、あたかも南方から渡航してくる同胞を迎える為の指標として創作された感があります。甕大明神とはお

次頁に続く





帽子山展望台から見るヒラバイ山

のできる最も標高の高い四国剣山、そして西日本で最高峰を誇る石鎚山等も、指標として用いました。そして短期間の内に鹿島、出雲、宇佐、海部、宗像の鐘崎港などの海沿いの港となる拠点がそれらの指標を結びつけて特定されただけでなく、それら線上に天橋立や高千穂などの大切な聖地も見出されました。

まず、ヒラバイ山と富士山の指標を結ぶ線上から、本州東沿岸に鹿島の港が特定されました。古代の海岸線の姿は今日とは大きく異なり、鹿島周辺の海岸線も例にもれず、古代では内陸方向にかなり入り組んでいたと考えられます。それでも鹿島の存在意義は変わらず、ヒラバイ山に紐づけられる線が突き当たる本州の東沿岸周辺には、古くから港が存在し、鹿島神宮も港のそばに造営されることとなりました。ヒラバイ山と富士山、鹿島を結ぶカシマ線上には、後世において空海が本拠地とした高野山のものも浮かびあがり、注目に値します。

次に、その鹿島を指標として同緯度の北緯 35 度 59 分を西に向かうと諏訪湖のほとりに達し、ヒラバイ山と石上神社の神籬石を結ぶモリヤ線と、諏訪湖畔の南、守屋山の麓で交差します。モリヤ線は淡路島の神籬石から夏至の日の出の方向、およそ 30 度の方角にある阿久遺跡を指す線ともほぼ重なります。そして、モリヤ線は守屋山の山頂を越えて諏訪大社前宮本殿をピタリと指しています。これは偶然の一致とは言い難く、古代から阿久遺跡、そして後の諏訪大社も含め、それらがヒラバイ山と淡路島の神籬石を結ぶモリヤ線、更には富士山や鹿島を結ぶカシマ線とも地理的なつながりを持つことが、あらかじめ目論まれていたからに他なりません。イスラエルの首都、エルサレムの思いが込められたヒラバイ山を原点とする線上に存在するこれらの指標を元に、諏訪大社や鹿島神宮の位置が決定づけられているだけでなく、諏訪大社は、これら3つの線上における全ての拠点に結びつく力の象徴であるだけに、それが今日でも著名なパワースポットの一つとして知られている所以です。

諏訪大社前宮本殿から守屋山頂上へ向かう山道の途中には人の手が入った多くの磐座が存在し、守屋山は岩の博物館とも囁かれる程です。駐日イスラエル大

使ら多くのユダヤ人が今日でも参拝する諏訪大社の背景には、多くのイスラエル系渡来者がその場所を聖地として大切にしてきた歴史があります。イスラエルの民にとって諏訪大社の御神体として噂が絶えない守屋山の存在は極めて重要であり、旧約聖書アブラハムの時代を彷彿させる名山と同一の名称であることからしても、多くの思い入れと共に、古くから祭祀活動の重要拠点であったことを知る事ができます。

同緯度に拠点を見出す手法を用いた、もう一つの重要な事例が出雲です。古代より最も重要な指標として重宝された富士山の頂上から北緯 35 度 23 分を西に向かい、日本海の沿岸でつき当たる場所が港として選別され、そのすぐそばに出雲大社が造営されたのです。こうして、富士山に由来する地の力を備えた日本海側の最重要港として、出雲は古くから栄えました。その富士山からは、九州の宇佐も見出されています。富士山の頂点と淡路島の神籬石を直線で結ぶと、大分の宇佐神宮の場所にピタリと当たること、特筆に値します。

また、淡路島から眺めることができる一番標高の高い剣山も、古代社会では富士山と同様に極めて重要な指標でした。既に出雲の拠点は特定されていたという前提で、次の拠点となる港をそこから剣山方向に探求すると、その一直線上に四国徳島の沿岸が当たります。確かにその場所には古くから重要な港町が造られ、海部と呼ばれました。古代の民が南方から旅をする際に、必ず寄港する貴重な港町として古くから栄えたその港は、出雲と剣山に紐づけられて発展したのです。今日では海部郡海陽町となる海部周辺は、剣山方面に四国東南側から登る際、川沿いの長い山道が始まる入り口でもあり、古代からその位置づけは出ても重要でした。

この出雲と海部を結ぶカイフ線と、淡路神籬石と宇佐神宮を結ぶウサ線が四国香川県で交差する場所に、金刀比羅宮が建立されています。古代の地勢観を元に、神籬石や、出雲、宇佐、剣山、そして海部等の指標が連なる線が交差する場所は、海を渡り巡る海人一族の貴重な拠点として、特に重要視されました。そしていつしかその場所が神々が祀られるようになり、海の安全を祈願する金刀比羅宮として庶民から愛される宮となったのです。

また、宇佐神宮と剣山を結ぶ線からは、古代の重要港が更に二つ、定められました。およそ東西を横切るその線上には、徳島の阿南、そして紀伊半島では三重の尾鷲が存在します。どこ

からも今日、地域の重要港として知られていますが、その歴史は古代まで遡っていたのです。南方より舟で訪れる民は、高知県の南岸を経由して、海部から阿南へと北上し、そこから淡路や近畿方面、もしくは瀬戸内海を西方へと航海を続けました。また、本州方面に向かう際は、紀伊半島を海岸沿いに巡り周ることから、伊勢と熊野の中間に位置し、港としての地の利に恵まれていた尾鷲は、早くから重要港として用いられたのです。更に宇佐神宮から夏至の日の入りの方向には、対馬に海神社が存在し、その奥宮となる和多都美神社が南方およそ 9.7 キロの位置に建立されています。その和多都美神社と宇佐神宮を結ぶ線が北九州宗像に当たる沿岸には鐘崎の港が定められ、古代、海人一族の本拠地の一つとして発展しました。こうして富士山と剣山という二つの名山を基点として、それらに繋がる列島の指標から、多くの港の拠点が見いだされたのです。そして山々や他の指標に連結する力の象徴となるべく、港の周辺には著名な神社が建立されることも少なくありませんでした。

#### 北緯 42 度 32 分に聖地が並ぶ理由

古代の聖人らは、山だけでなく、島々を結ぶ線も用いて、指標を定めました。その最も顕著な事例が伊島、神島と江の島を結ぶ線です。徳島県と和歌山県の間、阿南沖には平坂名の「い」に似ている形から伊島と呼ばれるようになった離島が在り、伊勢湾には渥美半島と鳥羽島の間に神島が浮かびます。そして更に東方の相模湾には江の島が材木座の海岸に隣接しています。これら3つの島々はピタリと一直線上に並び、島の大きさは全く異なるものの、それぞれが古代社会において、何らかの神宝を秘蔵する為に用いられた形跡が残されています。神島には多くの文化財が埋蔵されていることは周知の事実ですが、江の島にも古代の洞窟が掘られていることが指摘されています。また、伊島の奥の院周辺の磐座も人間の手が入っている形跡が見られ、神宝と関連している可能性があります。

これら3島の中でもとりわけ、中心的存在となったのが、中間地点に浮かぶ神島でした。神島は、富士山の頂上と淡路島の沿岸からはそれぞれ 183 キロメートル、諏訪の守屋山からも 187 キロメートルと、ほぼ同じ距離に位置しています。つまり、富士山、淡路島、守屋山を弧に描き、それらのちょうど中心に神島は位置していたのです。それ故、古代から神島は離島の中でも特別に扱われ、神宝の宝庫となる拠点としても

重要な位置を占めたのです。

一方、淡路島界限では石上神社の神籬石だけでなく、剣山と神籬石を結ぶ直線上の北側に存在する神戸北部の六甲山も重要視されるようになりました。磐座の博物館と呼ばれる守屋山と並び、六甲山の磐座も広範囲に広がり、特筆すべきものがあります。剣山、神籬石、及び六甲山という貴重な磐座が連なる名所を結ぶ線が特別視されたことは、言うまでもありません。その結果、六甲山に繋がる線と、神島が浮かぶ北緯 42 度 32 分線が交差する場所も重要視され、その場所が、巨石信仰のメッカとなる石上神社の磐座としてピンポイントで定められたのです。

舟木遺跡そばの小高い丘の上にもその雄姿を見せる石上神社の磐座は、古代から岩そのものが御神体として祀られ、今日でも女人禁制の聖地として多くの旅人が参拝に訪れます。渡来系の海人豪族として知られる舟木氏は、伊勢国多気郡の佐那神社を拠点とし、造船技術を得意としていました。その舟木の名がつかず淡路の舟木地区には、舟木氏の祭祀施設が存在したと考えられ、石上神社もその一角に在ります。そこでは仁井地区に匹敵する北淡路最大の弥生時代後期の埋蔵文化財も発掘されています。また、約 1 万年前のものと考えられる有舌尖頭器と呼ばれる石器も発見され、舟木の歴史は縄文時代草創期にまで遡ることがわかりました。

万葉集にも多く詠まれている北淡町の舟木地区は、海岸線から 2km も離れ、農業に不向きな標高 150 メートルの丘陵上にあるものの、集落跡の遺跡からは多くの製塩土器が発掘され、大きな竪穴住居跡も発見されています。生活に不便な高地に集落が築かれた理由は、祭祀活動が行われていたからに他ならず、弥生時代に瀬戸内海沿岸一帯に広がりを果たした他の高地性集落と同様に、理屈抜きで多くの古代の民は神と接することを願ひ、ひたすら高き所に居住地を探し求めた結果とも言えます。石上神社そばの山の上からは、大阪湾や播磨灘を一望できる展望所もあることから、正に聖地としてふさわしい場所でした。神は高い山に降臨すると言う古代の信仰に基づいた信仰心故の社会現象だったのです。

こうして舟木の巨石は祭祀活動を執り行うに最もふさわしい場所に移動され、そこで人為的に磐座が造営されたのです。淡路島には神籬石が既に存在していましたが、主に地理的な指標として用いられた神籬石に対して、そこから東北方向に 15km 程離れた石上神社の巨石信仰は、およそ神宝に纏わる指標として、北

緯 34 度 32 分の線上の神島に紐づけられて同緯度上に位置づけられたと考えられます。その神島と石上神社を結ぶ北緯 34 度 32 分の線上には、東西約 200 キロに渡り、箸箸、三輪山、長谷寺、伊勢の齋宮など複数の聖地がその後、特定されることとなります。「太陽の線」とも言われるこの北緯 34 度 32 分の線上に並ぶ聖地は、その特徴として特に、磐座や岩石が信仰の対象となる傾向にあり、また西アジアやイスラエルの信仰とも結びついている可能性が指摘されているものも含まれます。剣山と六甲山を結ぶ線上の聖地も、石上神社を含めて全て磐座が主体であることから、この2つの交差する線をもって、多くの著名な磐座が網羅される事実を知ることができます。これらの磐座には古代神宝の存在が絡み、磐座そのものがまた、次の拠点を探すべきの指標となる、という古代人の知恵を垣間見ることができます。

#### 伊弉諾神宮と「陽の道しるべ線」

地域の指標とされた神籬石や、自然の磐座を中心とした祭祀活動の場とは一線を引いて、民衆が集い、神を崇める場所の造営も望まれました。それ故、神籬石のある石上神社は奥の院として温存し、庶民の誰もが集いやすい平地に神の宮を設け、人々がそこに集まるように目論んだ結果、今日の伊弉諾神宮が誕生しました。既に列島の最西端には宇佐神宮に紐づけられた聖地として対馬の西海岸沿いには海神社が造営され、大陸からの航海者を迎え入れていました。その海神神社と同緯度の線と、ヤウエー線とも呼ぶ基本線、すなわち、沖縄那覇から八戸をかけて横切る線が交差する場所が、ピンポイントで伊弉諾神宮の場所として選定されたのです。しかもその場所は、剣山と石上神社、六甲山を結ぶ線も交差するという、極めて重要な位置だったのです。

伊弉諾神宮の位置から、冬至の日の出、日の入りに向かう方角にも、聖地が見いだされたことは言うまでもありません。冬至日の出の方角には、伊弉冊尊が灼かれて亡くなった後に葬られた御陵として知られる花の窟神社が海岸沿いの磐座と共に、伊弉諾神宮に紐づく場所として聖地化されました。また、冬至の日の入りの方角には高千穂神社の存在があります。高千穂神社は、伊弉諾神宮から日の入りの方角に線を引き、ヒラバイ山と西日本最高峰である石鎚山を結ぶ線が交差する場所に特定されたのです。[つづく] (文中島尚彦)

連載中の歴史コラムは随時更新して <http://www.history.jp.com/> に掲載しています。是非ご覧下さい。

お庭でのくつろぎが楽しい季節

### 「チーク」でナチュラルな優しさをお庭に



**デスクセット 41500/12** **お得な5点セット! ¥40,800!**

オフィスチェア COF105 ¥2,980  
オフィスチェア COF076Y ¥1,980

数量限定、早い者勝ちの(お値打ち限定特価市) 現品限りの特別価格(わけあり商品) お得なキャンペーン開催中!

**ファニチャーハウス**  
〒286-0044 千葉県成田市並木町14-2  
TEL:0476-24-5111 FAX:0476-24-5112  
www.furniturehouse.co.jp

営業時間: 平日10:00~19:00 土曜日12:00~17:00 日祝日 休業

カリフォルニアのおいしい水 アクアヴィル

## AQUAVILLE

PURIFIED DRINKING WATER 500mlボトル24本入

お手頃な価格でお届けします。1ケース送料込 **878円**  
携帯でのご注文はこちら **2ケース(送料込) ¥1,480円**

フィットネスハウス **0476-89-3111**

### 成田屈指の安定企業!

商品のピッキング・梱包、入出庫管理のお仕事です。最先端の物流倉庫で初心者も活躍できます!

【職種】物流倉庫管理スタッフ【給与】時給**1000円**~  
【時間】7:00-19:00で6時間以上勤務できる方※勤務時間応相談  
【休日】日祝日、隔週土曜、年末年始休暇、有給休暇  
＜福利厚生も充実＞●天然温泉「大和の湯」優待 ●スポーツ支援 ●社内カイロプラクティック ●社宅あり ●駐車場完備 etc.

最新採用情報はWEBサイトでご確認ください >>>>  
http://guide.soundhouse.co.jp/kaisyu/saiyou.asp

お問合せ(担当:採用係) **0476-89-1777**  
job@soundhouse.co.jp

# ゆったり過ごす大人の極上リゾート

## 祝 全国トップ20ランク入り

旅行クチコミサイト「トリップアドバイザー」による「行ってよかった日帰り温泉&スパ2013」に選ばれました

Yayoi SPA & FITNESS

- ◆ジム ..... ¥1,000円
- ◆ジム+プール ..... ¥2,000円

フロアスタッフ募集中

【給与】時給1000円  
【時間】平日9:00~22:00  
【休日】シフト制(応相談)  
【資格】学歴・性別不問

清掃スタッフも同時募集中  
日中出来る方大歓迎!  
詳しくはお気軽にお問い合わせください

成田の天然温泉 **あじさい** AJSAT

好評! 淡路御膳 1,500円

淡路島から直送の魚介を贅沢にあしらった御膳

大和の湯 0476-28-8111

入館料|平日:700円 土日祝:1000円  
※小中学生の入館料:300円(大人1名同伴の場合)  
営業時間|10:00-22:00  
※年中無休(全館禁煙)

### WEBサイト案内

日本シティジャーナルをご覧いただきありがとうございます。本紙のバックナンバーはWEBサイトにすべてご覧頂けます。連載中の歴史に関するコラムは最新情報に随時更新してスペシャルサイト「日本とユダヤのハーモニー」にまとめてあります。また、ご意見・ご要望等をお待ちしております。FAXやホームページからお寄せ下さい。

日本シティジャーナル: <http://www.nihoncity.com/>  
日本とユダヤのハーモニー: <http://www.historyjp.com/>

### 編集後記

以前からずっと訪ねたいと思っていた鹿児島県の甕島で、今回は原稿を執筆しました。旅には思いがけない発見がつきものです。今回感動したのは甕大明神の姿です。単なる立石と思いきや、とんでもない誤解であり、実際は古代彫刻の傑作とも言える巨大な作品であり、眺める角度により全く違う様相を提示するのには驚きました。岩石の上からはロープが垂れ下がっていたので、最近鍛えた体で思いきってロッククライミングをし、最上段まで上りつめました。WEBに写真を掲載しておきます。

NCJ 編集長 **中島 尚彦**  
1957年東京生まれ。14歳で米国に身寄リテニス留学。ウォートンビジネススクール卒業後、ロスアンゼルスにて不動産デベロッパーとして起業。米国ビジネス最前線で活躍する。1990年に帰国後、成田においてサウンドハウスを立ち上げる。現在サウンドハウス代表、日本シティジャーナル編集長を兼務。趣味はギターとマラソン、アイスホッケー、及び日本古代史研究。